2021 年度（2021 年 9 月 1 日～2022 年 8 月 31 日）

研究活動報告

（１）年次大会について

2021 年度第 11 回研究大会は、2021 年 10 月 2 日（土）・3 日（日）、東大阪大学を配信会場として全日程をオンラインにて開催した。参加者数は 90 名であった。自由研究発表（A）一般研究が 11 本、自由研究発表（B）実践事例研究が 5 本の報告があり、課題研究はⅠ・Ⅱ・Ⅳから報告があった。学会企画のシンポジウムⅠでは「臨床教育学の概念と方法：国際的な研究環境と歴史的な歩み」を、学会企画のシンポジウムⅡは「新型コロナウイルス感染症と臨床教育学：コロナ禍において、あらためて『生存』を支える思想を鍛える」が、それぞれ報告された。

（２）定期総会について

2021 年度第 11 回定期総会は、2020 年 10 月 3 日（日）9 時 30 分～10 時 10 分にオンラインで開催した。出席者が全会員の過半数に満たなかったため、会則第 8 条 4 に基づき、仮総会とし、その決議事項をホームページ上で発表し、その後 1 か月の期間、仮総会の決議内容に対する意見を募集した。その結果、会員総数の過半数が文書によって反対されることがなかったため、正式に決議された。

（３）機関誌『臨床教育学研究』第 10 巻について

編集作業の遅延のため 2022 年 3 月末の発行ができず、10 月末をめどに作業を進めている。この問題については、会長・事務局長・前編集委員長・現編集委員長とで緊急会議を開くなどし、対応策を講じた。今後、投稿者が不利益を被らないよう、編集計画の見直しや編集事務局の設置を図ることとした。

（４）会議について

毎年、全国理事会を年 2 回（10 月・5 月）、常任理事会を年 2 回（2 月・7 月）予定しており、今年度は下記の通り実施した。12 月に次回の大会構想を練り、5 月理事会にてシンポジウムの予備討論会を重ねることにした。今後もこのような方法を採用したい。

2021 年 10 月 1 日（金）　第 6 期第 6 回全国理事会（前半）　オンライン
2021 年 10 月 2 日（土）　第 6 期第 6 回全国理事会（後半）　オンライン
2021 年 12 月 19 日（日）　第 6 期第 7 回全国理事会　オンライン
2022 年 3 月 9 日（日）　第 6 期第 8 回全国理事会（常任理事会を全国理事会に拡大）オンライン
2022 年 5 月 28 日（土）　第 6 期第 9 回全国理事会　オンライン
2021 年 7 月 26 日（日）　第 6 期第 10 回常任理事会　オンライン

（５）研究会

「新型コロナウイルス感染症と臨床教育学」に関するオンライン研究会（編集会議）が、下記の日程で行われた。現在、論考をまとめた冊子発行が目指されている。

2021 年 10 月 30 日（土）
2021 年 12 月 10 日（金）
2022 年 3 月 23 日（水）
2022 年 5 月 7 日（土）
2022 年 7 月 9 日（土）